

民生教育委員会指摘事項一覧

令和 7 年 9 月 24 日に民生教育委員会が開催され、環境政策課から第 2 次米子市環境基本計画改定版のパプコメに関する報告を行った。
指摘事項とその対応を下記にまとめる。

発言者	コメント内容	対応	計画対応ページ
又野	P37 は実績と目標の区別がつくようにしたほうが良い。	対応した。	P37
〃	P40 で鳥取スタイル PPA について初心者がわかるように説明を追加してほしい。	追加した。	P17,40
〃	再資源化の取組は、具体的な取り組みを記載したほうが良い。	追加した。	P46
吉岡	P9 の地域脱炭素化促進事業について、トラブルを事前に防ぐために自治体が開発を禁止するエリア（ネガティブゾーン）を設定したほうが良いのではないか。	地域脱炭素化促進事業含め地域のゾーニングについて、市町村においては都道府県基準を踏襲して作成することが望ましいと考えているため、鳥取県による設定がなされていない現段階では、今回の計画の枠組みには入れ込まないことが適切と考えている。	—
〃	P15 の棒グラフは円グラフのほうが見やすいのではないか。	円グラフにした。	P15
〃	P16 で健康上の理由で参加が難しい層も一定数存在し、体に負担をかけずに貢献できる活動の提案とは何か。	例えばYouTubeを通して、外出ができない方には、自宅で分別を1つすることでも環境に十分寄与しているなどの、環境保全に対する参加意識を変えるような発信を検討している。	P16
〃	P39、水源かん養林の保全及び育成と気候変動の適応の関係はどのようなものか。	整理して追記する。水源かん養林とは、水源を守り育てることを目的とした森林で、雨水の浸透や安定した水供給を支えている。二酸化炭素の吸収による気候変動の緩和と、洪水・渇水の防止などによる気候変動への適応の両面で重要な役割を果たす。	P39

発言者	コメント内容	対応	計画対応ページ
”	P47(3)基本目標達成に向けての課題でリサイクルプラザの資源化処理後のプラスチック残渣の一部を外部処理したことによって最終処分量の低下したとあるが、この外部処理とは何か。	リサイクルプラザでの資源化処理後に発生するプラスチック残渣の一部については、外部事業者に委託し、焼却処理が行われている。このことにより、埋立処分量（最終処分量）の低減が図られている。 なお、これらの取組は「ごみの減量化」や「資源循環」の推進に位置付けられるものであり、全てが直接的に脱炭素（温室効果ガス排出削減）に結び付くものではない。	P47
”	自然共生サイトへの水鳥公園の登録は大変すばらしいので、環境教育に生かしてほしい。	拝承。	P49,52